

大府市新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金 必要書類一覧表

No.	提出書類等	具体的な書類例	○⇒必須 △⇒場合により必要	確認欄
①	本支援金の支給申請書		○	
②	申請時確認書		○	
③	本人確認書類の写し	運転免許証、個人番号カード(マイナンバーカード)、住民基本台帳カード、旅券(パスポート)、在留カード、各種障害者手帳、健康保険証、住民票、戸籍謄本など	○	
④	社会福祉協議会が実施する特例貸付(総合支援資金の再貸付)が確認できる書類の写し	・再貸付の借用書(控)の写し(再貸付の貸付決定通知書の写しでも可) ※不承認だった場合、不承認通知の写し	△ ※ない場合は⑤が必要	
⑤	再貸付不承認・過去借入状況申告書	※④の書類がない場合に提出	△ ※④がない場合のみ	
⑥	収入が確認できる書類の写し 【申請者分】 【世帯全員分】	給与明細書、売上・経費のわかる帳簿、手当・年金等の振込記録(通帳)など ※収入がない場合は、通帳など	○	
⑦	金融資産が確認できる書類の写し 【申請者分】 【世帯全員分】	通帳、ネットバンクの残高確認画面など ※お持ちの口座全部	○	
⑧	求職活動関係書類	求職受付票(ハローワークカード)の写し ※生活保護申請中の方を除く	△ ※申請後の提出も可	

今後の生活の自立に向けて、下記のいずれかの活動を行うことが必要です。

※活動が確認できない場合には、支給中止となります。

(1) 公共職業安定所に求職の申し込みをし、誠実かつ熱心に求職活動を行うこと(具体的には下記①～③)

- ① 月1回以上、自立相談支援機関(市役所地域福祉課)の面接等の支援を受ける
- ② 月2回以上、公共職業安定所で職業相談等を受ける
- ③ 原則週1回以上、求人先へ応募を行う又は求人先の面接を受ける

※ ①～③の活動は所定の様式で報告を行っていただきます。

報告様式、報告方法、報告時期などの詳細は、支給決定者に対してお知らせします。

(2) 就労による自立が困難であり、この給付終了後の生活の維持が困難と見込まれる場合には、生活保護の申請を行うこと